

**第 3 回 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略
検討推進委員会 意見等報告書**

令和 2 年（2020 年）

別海町

1 委員会の概要

(1) 開催内容

第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検討

(2) 開催日時

■第3回

日 時：令和2年2月20日（木） 10：00～10：35

場 所：別海町役場庁舎4階委員会室（1）

出席者：別海町まち・ひと・しごと検討推進委員会委員 12名

主 催：別海町役場 総務部 総合政策課

2 意見等

意見等

- 光回線が必要としている現実を理解できるが、ソサエティー4.0に対する基本的なインフラとして整備をし、その先の未来も始まっているので、ソサエティー5.0少し意識し計画に盛り込めないか。
- ブルーカーボンと言うか、海の例えばアマモの藻場は日本有数で、そこで吸収される二酸化炭素の量はかなりのものだと思う。林業のグリーンカーボンと言う考えが出ているので、少しそういうことも盛り込めないか。排出を抑える方だけではなくて、環境を整えることによって吸収を積極的に進めるという考え方もある。
- 20歳代で男性の数に比べて女性数が著しく少ないということは、何か女性が別海町に若い世代が住みづらい原因や、もしかしたら、そこに女性の数を増やすチャンスがあるのではないのかと思う。若い女性に魅力的なまちになるにはどうしたら良いかということを考えることが直接、人口減少をくい止めるという手立てとなりえると考えてるので、今回の計画では、詳細に記載はできないかもしれないが、方向性としてまちづくりを進めてほしい。
- 「子ども・子育て支援事業計画」が今、パブリックコメントを行っている。示された基本計画の中に、子育てのニーズが満たされるかという指標があるが、実際、希望に応じてというのは0歳から2歳の通える施設がある地域は通えるニーズが出てきて、0～2歳が通えない地域のニーズは組めないという仕組みになっている。アンケートでは全町的にアンケートを取っているので、本当はニーズがあるのに見えなくなっているという現状がある。これでは、子育て世代が別海町に越してきたいと思っても子どもを預かってくれる場所がないということにもなるし、農業関係者からも0～2歳の子どもの預かり先をぜひ充実してほしいという総合戦略のパブリックコメントも出ていたので、「子ども・子育て支援事業計画」がより充実したものになれば、結果的に人口減少に歯止めがかかるものになると思う。
- 行政はセキュリティーが厳しいところがあり実現には難しいと思うが、例えば参加できない方がリモート参加ができるような仕組みを実験的に取り入れてみるとか、あるいはその他の情報機器を使った取り組みを行ってみるとか、今後、町全体の情報化、あるいは次の社会に向けた先進的な取組の一部になると考えるので、会議の持ち方も含めて実験的なものを検討できないか。
- 計画をたてても目標を達成しないという計画が永遠につづくということになってしまうので、第1期の踏襲ということではなく、うまくいかなかったところを含めてどうしたら目標数値が達成できるかという観点で考えてほしい。

第2回別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討推進委員会 意見等報告書

発行年月：令和2年（2020年）

発行：別海町

編集：別海町役場 総務部 総合政策課

住所：〒086-0205 北海道野付郡別海町別海常盤町 280 番地

電話：0153-75-2111

FAX：0153-75-0371